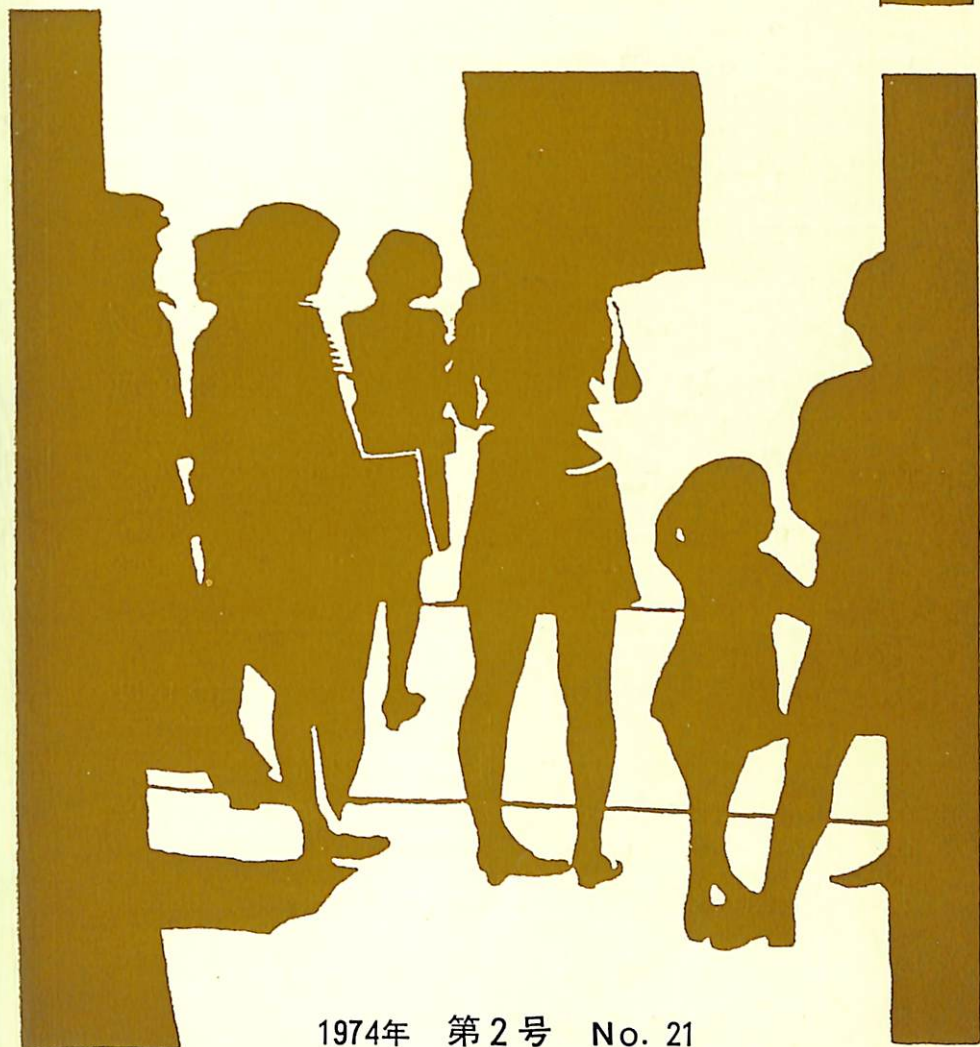


新時代

視覚障害に関する研究と情報



1974年 第2号 No. 21

* 岩波の創作児童書《新刊2冊》

● 岩波少年少女の本 25

いっせいに花咲く街

赤座憲久作 鈴木義治画

A 5 判・240頁 1000円

第二次大戦のさなか、中国大陸の美しい国際都市ハルビンに、戦争の暗い影がしのび寄る。盲目の少年一郎の一家は、敗戦とともに日本へ引き揚げるようになったが、ふとした事件のためとり残された一郎は、中国の少年から日本が中国に対して犯した罪悪の数々を知らされる…。ある日本人一家と中国の少年との友情を描いた物語。

〈小学5・6年以上〉

● 岩波少年少女の本 26

水と光とそしてわたし

今江祥智作 長 新太画

A 5 判・184頁 900円

淳平、恵理、隆は、関口「鳥」博士に誘われ、伊那ヘカラスの大群を見に行く。三人は三日間、雪の上の黒点の乱舞を見つめ続けた…。この厳寒の共同観察は、彼ら「鳥キチ」を急速に親しくした。淳平と恵理は11才、隆は20才。彼らと鳥との交流を描きながら、動植物と人間とのかかわり合いをさぐろうとするユニークな作品。

〈小学5・6年以上〉

坂寄俊雄著

〈岩波新書〉180円

社会保障^{第二版}

各国制度の生成発展史のなかに社会保障の存在理由、本質を見きわめ、わが国制度のあるべき姿を追求する。今回、現状にそくして改訂。

赤座憲久著

〈岩波新書〉180円

目の見えぬ子ら

点字の作文をそだてる 点字を単に文章を書く手段としてでなく、自己の生活を見つめ考えを深めていくためのものとした一教師の実践記録。

岩波書店



東京千代田一ツ橋
振替〈東京〉26240

ある重複障害児の生活



自転車で通学

石津明夫くん（8才）4才のとき多発性硬化症発病
下肢マヒ、視力のおとろえ（10cm指数）が残る。
現在盲学校小学部3年生



山中湖の夏季教室で、この日は山登り

みんなは 頂上めざして登って行ったが、明夫くんはふもとで植物採集をした



土曜の午後は教会の土曜学校へ行く。

「おまえほんとうに見えないのか？」といたずらをする子どももいるが、中には親切な友だちもいる。

三田幸路ちゃん（7）

多発性硬化症により失明、
下肢マヒ、

現在盲学校小学部二年生

校内の歩行はヘルメットを
つけ、歩行器を使う



大雪の日、ゆきじちゃんも外に出してもらって
雪合戦をした。



大学で社会福祉の勉強をしている吉野由美子さんは弱視で肢体不自由である

養護学校、盲学校と制度の谷間でタライ回しをされる重複障害の子どもたち、重複障害で成人した人達の実態を二年がかりで調べて歩いた。

(写真・解説 下田 知江)

目 次

1974年 第2号 No.21

2 ページ評論 久里浜養護学校のことなど……………辻村泰男	2
盲幼児における手指運動と全身運動の 関連について……………五十嵐信敬・青山祥二	4
質問に答えて……………	13
網膜芽細胞腫の保存療法……………久保田伸枝	17
内外文献紹介……………	20
この人「点字発達史」の大河原欽吾先生……………	24
インフォメーション コーナー……………	28
盲児を持つ両親のために (下) ……………英国盲人協会編	31
身体障害者と大学……………石部元雄	40
編集後記……………	44

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。